



# キュービーネットホールディングス株式会社

2023年6月期3Q累計 決算説明資料

2023年5月15日

# (目次)

## ■ 2023年6月期 3Q累計実績

【連結】 サマリー	P.2～3
【連結】 新店・移転・閉店の実績	P.4
【国内】 来店客数の回復率実績と回復率想定	P.5
【国内】 売上収益の推移	P.6～7
【海外】 海外の状況	P.8～10
【連結】 PLの増減内訳（前期比）	P.11、 P.13～15
【連結】 PLの増減内訳（計画比）	P.16
【連結】 売上収益の推移、営業利益の推移	P.12、 P.17
【国内】 人員状況（採用数・従業員数）	P.18
【国内】 退職率の推移と国内の現状	P.19～21

## ■ 重点施策と今後の成長戦略

P.22～24

## ■ Appendix

P.25～33

PL、BS、キャッシュ・フロー計算書 P.30～32

今期の出店計画 P.33

# エグゼクティブサマリー

## サマリー

### (3Q累計実績)

- 売上収益は前年同期比109.7%の16,450百万円、国内外の需要回復等により前期比で増収
- 営業利益は前年同期比143.0%の1,290百万円、売上の回復等により前期比で増益

### (通期業績予想、1株当たり配当予想)

- 通期の営業利益予想は、1,500百万円→2,100百万円と過去最高益へ上方修正
- 1株当たり配当額の予想は、12円00銭→19円00銭へ増配

### (価格改定)

- シンガポールは、期初計画通り、上期に価格改定を実施
- 国内・台湾・アメリカは、期初計画外で、価格改定を前倒し実施

### (国内の業績手当、給与改定)

- 業績の状況から、国内の業績手当を前回価格改定時の水準で引当金計上（来期支給予定）
- 定期評価に基づく給与改定に加え、業界での競争力を考慮した給与改定を実施予定

### (業務委託店舗の労働環境改善)

- 業務委託運営していた33店舗（上期30店舗+3Qに3店舗）を当社の直轄運営に切り替え

# グループ連結業績（サマリー）

- 3Q累計の実績は、国内外の需要回復等により、増収増益
- 通期業績予想は、期初計画外の価格改定等を受けて、過去最高益へ上方修正
- 1株当たり配当額の予想は、「12円00銭」→「19円00銭」へ増配

## グループ連結業績（サマリー）

単位：百万円	2023/6期3Q累計		2023年6月期通期予想			
	実績	前期比 (%)	期初予想	修正予想	増減額	増減率
売上収益	16,450	109.7%	21,670	22,650	980	4.5%
営業利益	1,290	143.0%	1,500	2,100	600	40.0%
税引前利益	1,175	149.0%	1,328	1,950	622	46.8%
当期利益	812	156.2%	907	1,320	413	45.5%
基本的1株当たり 当期利益	62円56銭		69円54銭	101円60銭		
1株当たり配当額	—		12円00銭	19円00銭		

## 【連結】 新店・移転・閉店の実績

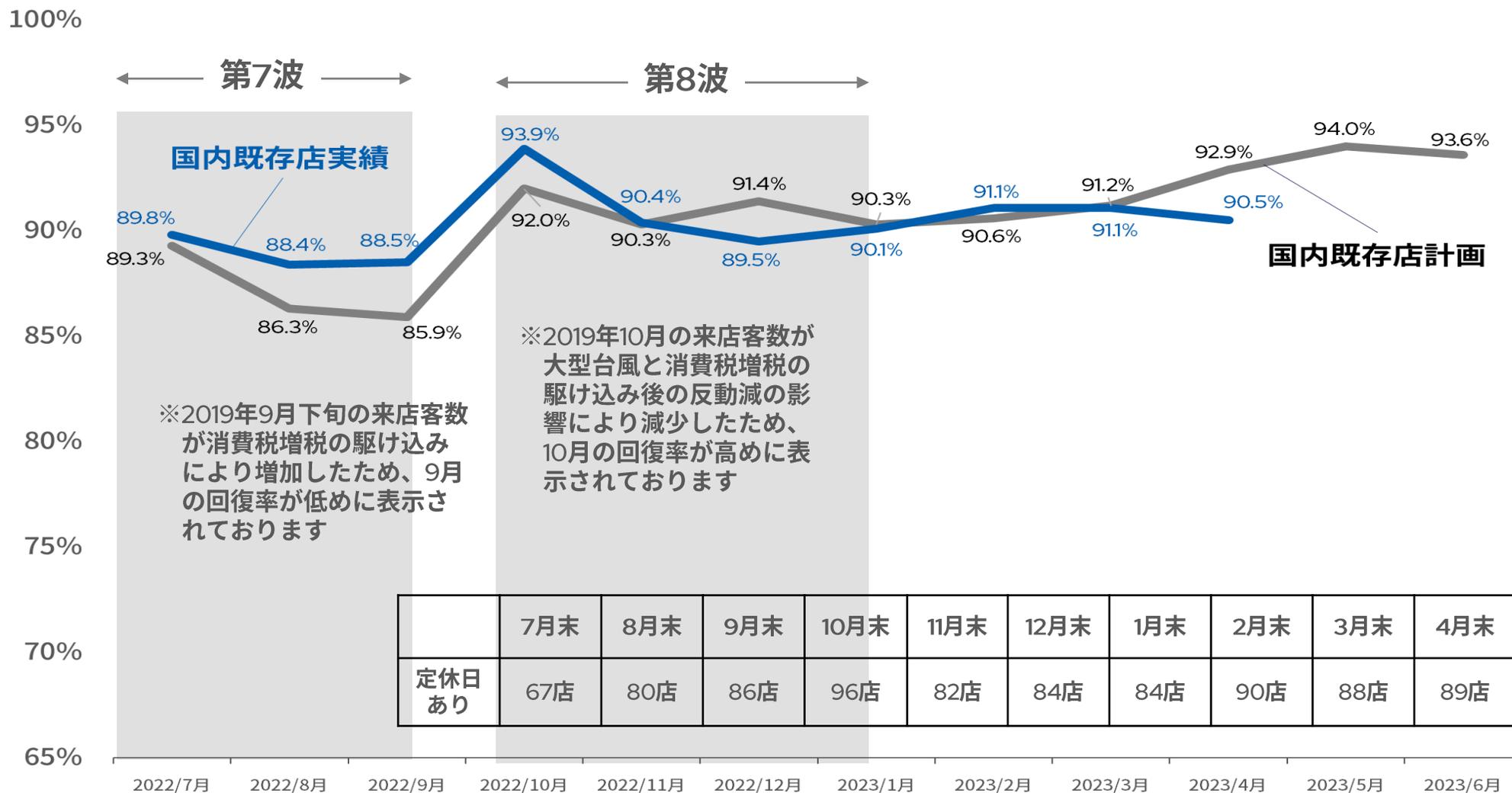
- 【国内】 運営の効率化による統廃合実施15店舗、デベロッパー都合の閉店8店舗
- 【海外】 統廃合1店舗（台湾）、デベロッパー都合の閉店5店舗（移転1店舗含む）

単位：店舗	業態	2022/6期末	新店	移転	閉店	増減	2023/3月末
日本	QB HOUSE	576	8	0	△23	△15	561
	QB PREMIUM	4	1	0	0	1	5
	FaSS	11	1	0	0	1	12
国内小計		591	10	0	△23	△13	578
シンガポール	QB HOUSE	22	0	0	△1	△1	21
	QB PREMIUM	8	0	0	0	0	8
	QB HOUSE Kids	1	0	0	0	0	1
香港	QB HOUSE	64	0	0	△2	△2	62
台湾	QB HOUSE	29	2	1	△3	0	29
アメリカ	QB HOUSE	5	0	0	0	0	5
海外小計		129	2	1	△6	△3	126
連結グループ合計		720	12	1	△29	△16	704

※閉店は移転に伴う閉店を含む

# 【国内】既存店来店客数の回復率計画と実績

3Qの回復率は、定休日の設定を継続したものの、ほぼ計画通りの推移



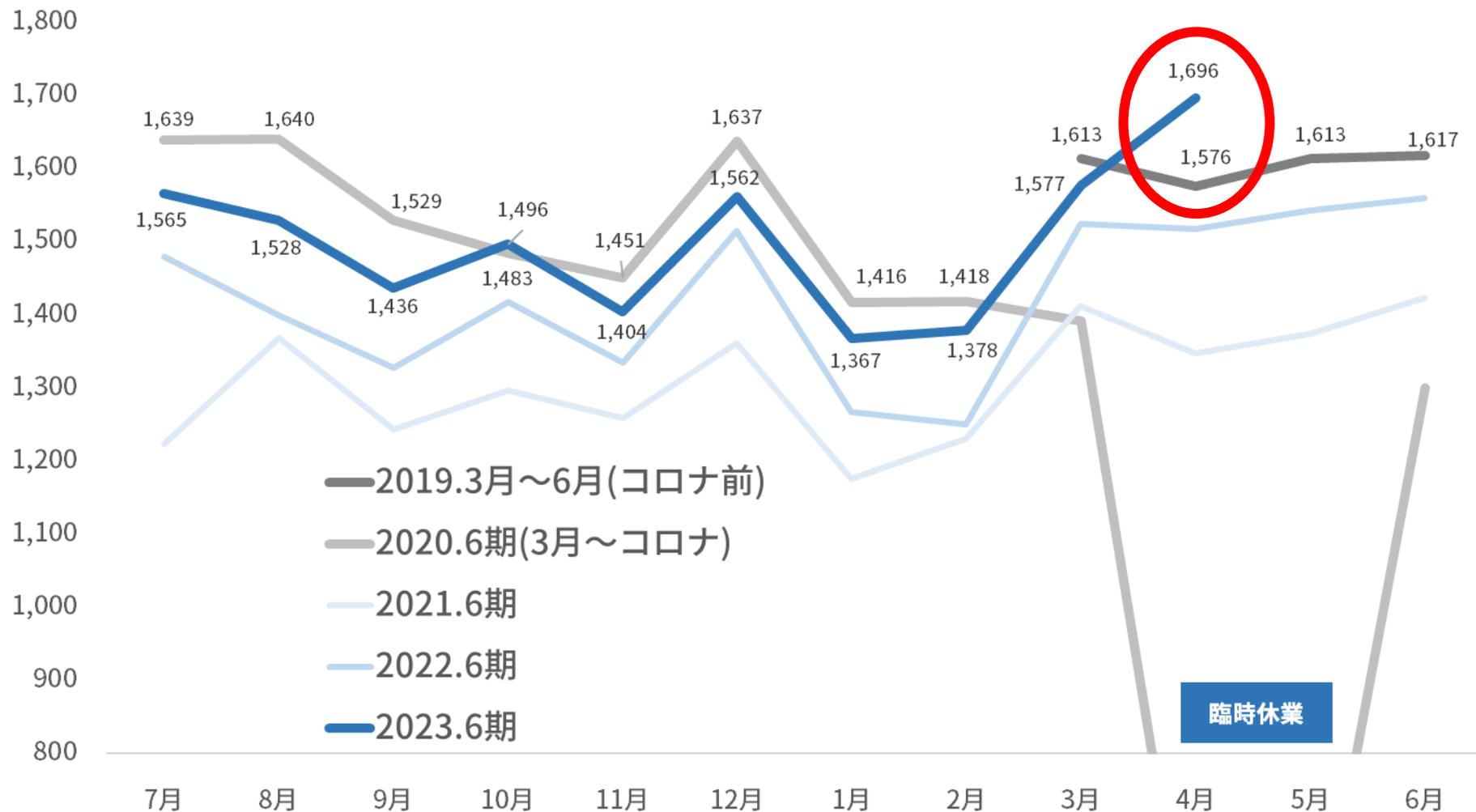
※回復率は、コロナ前比

# 【国内】売上収益の月次推移

— 価格改定により、4月の国内の売上収益はコロナ前の水準を超えた

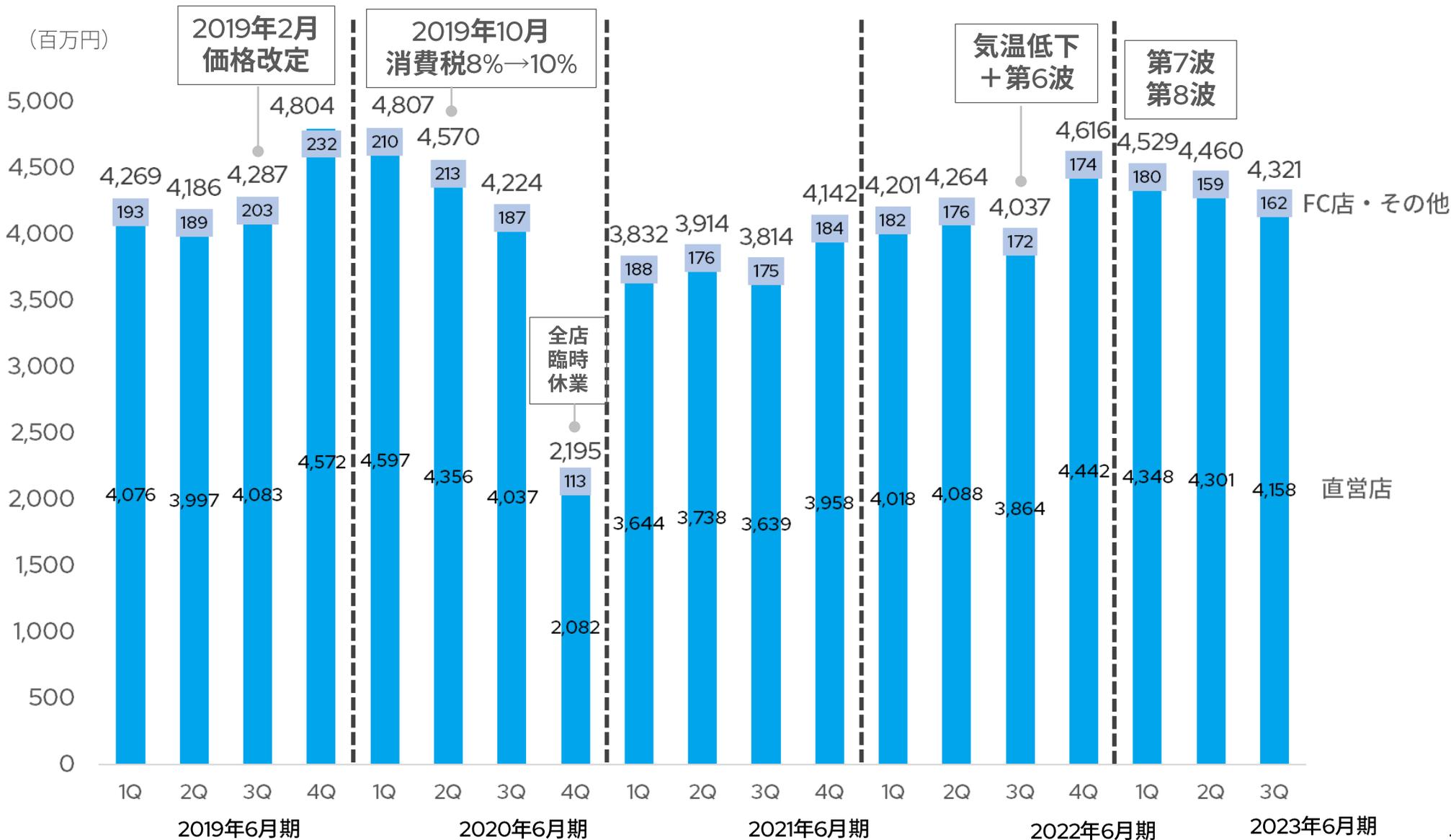
(単位：百万円)

国内の売上収益推移



# 【国内】売上収益の推移

国内の売上収益については、回復傾向が継続（通常は1Q・4Q 繁忙期、3Q閑散期）



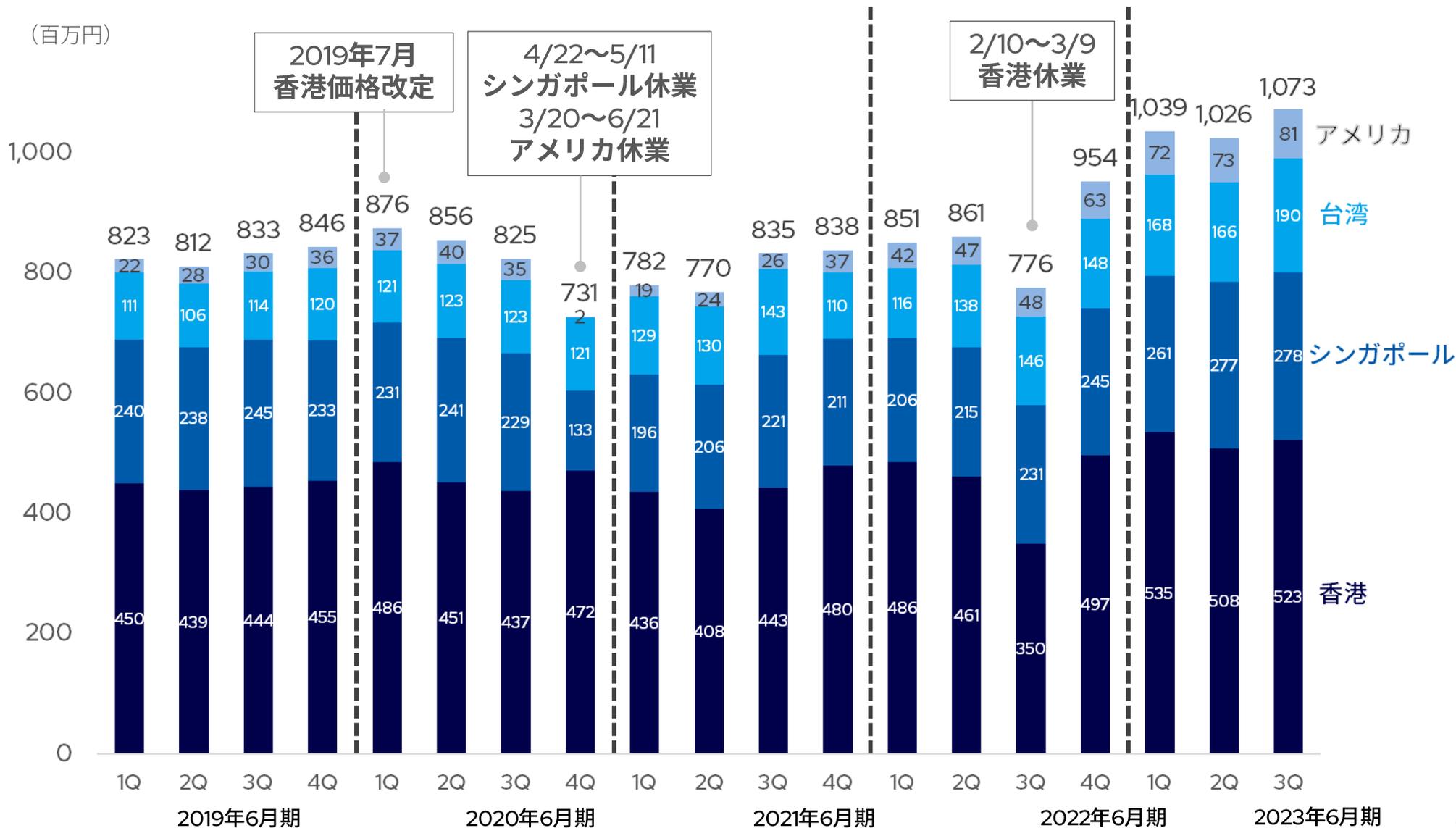
## 【海外】 事業の状況

	売上3Q コロナ前比	来店客数3Q コロナ前比	状況
香港	108.7%	89.8%	<p>コロナ前64店舗→62店舗へ統廃合およびデベ都合閉店 2022年12月28日より防疫措置の全面的な撤廃 →3月単月の既存店の来店客数は、コロナ前の水準に戻る 2023年5月に昇給を予定</p>
シンガポール	116.7%	74.6%	<p>コロナ禍によるテレワーク浸透等による都心就業人口の変化によりコロナ前37店舗→30店舗（約19%減）へ統廃合 価格改定：QB PREMIUM：20%アップ QB HOUSE：16.7%アップ →価格改定に伴う来店客数減の影響は想定の範囲内 2022年12月に昇給を実施済み</p>
台湾	145.0%	102.7%	<p>2022年12月にロジス（研修施設）を開校 店舗人員の採用面（純増数）が順調 価格改定（2023年1月）：16.7%アップ →価格改定に伴う来店客数減の影響は軽微 2023年1月に昇給を実施済み 5月1日よりコロナがインフルエンザと同じ分類へ変更</p>
アメリカ	185.9%	100.7%	<p>来店客数、売上は過去最高を更新中 価格改定：20%アップ（オンライン予約は16.7%アップ） →価格改定に伴う来店客数減の影響は無し 2023年1月に昇給を実施済み</p>

※売上は為替影響を含んでおります。コロナ前と比較するため、3年前の実績（全店合計）と比較しております

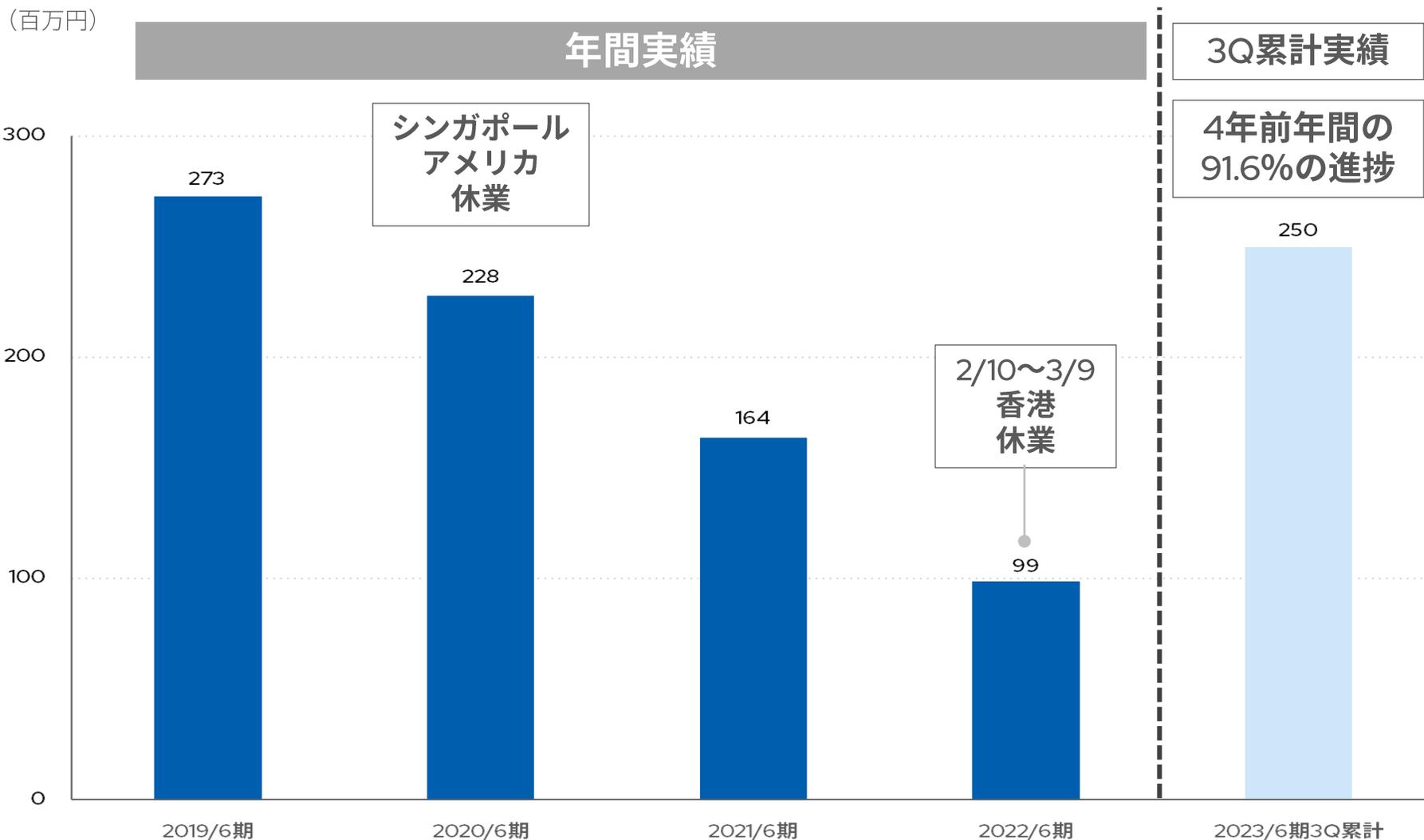
# 【海外】売上収益の推移

海外の3Q売上は、価格改定と為替影響を含み、過去最高（前期3Qは香港1ヶ月休業）



## 【海外】海外合計の営業利益（助成金除く）の推移

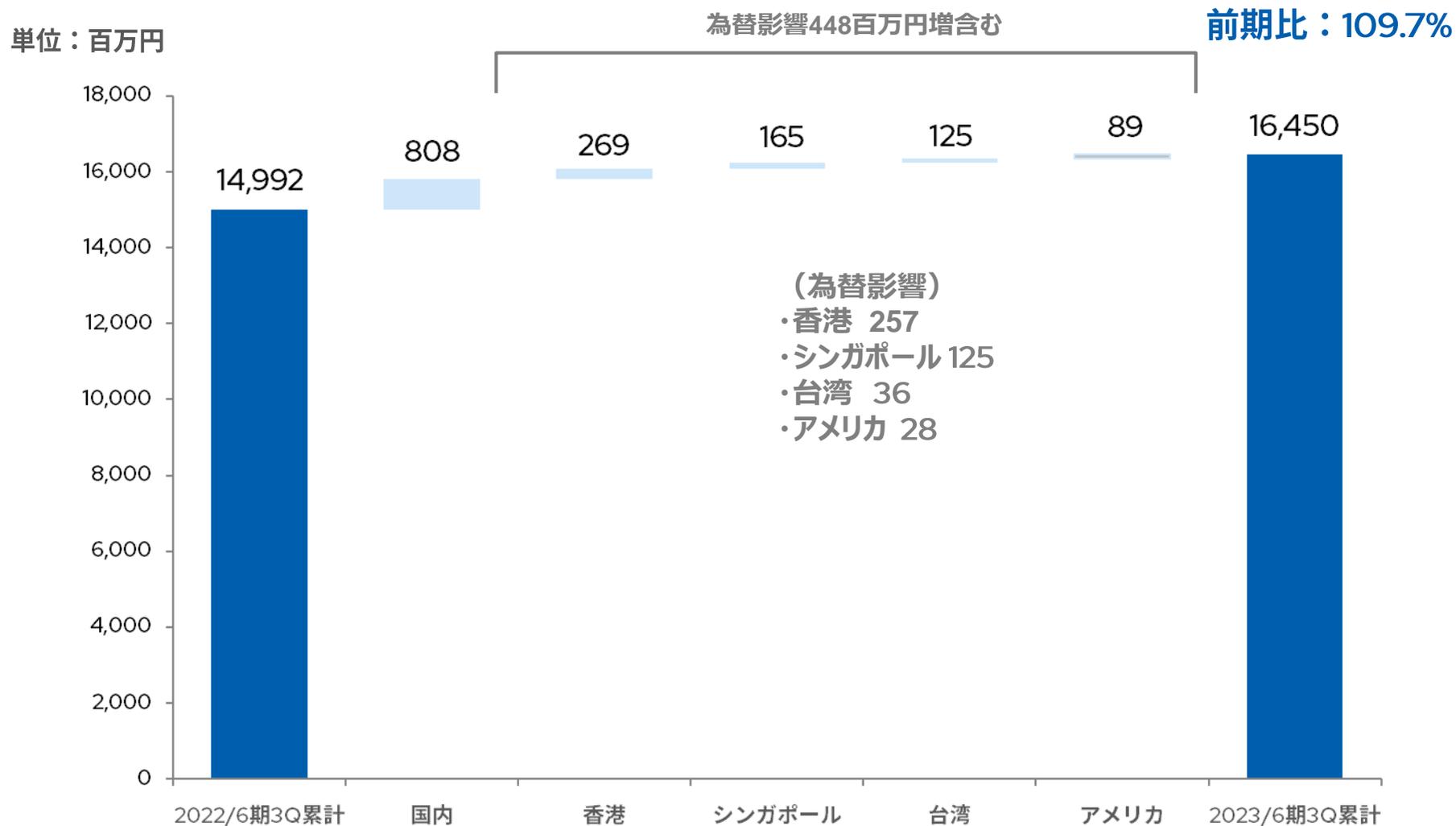
- 今期の海外の営業利益（助成金除く）は、価格改定や台湾の回復が順調なことに加え、アメリカの黒字化等に伴い、コロナ前の水準を超え、過去最高益となる見通し



※海外の助成金（2020/6期117百万円、2021/6期191百万円、2022/6期79百万円、2023/6期3Q累計40百万円）を除く

## 【連結】売上収益の増減内訳（前期比）

- 売上収益は、売上の回復に加え、為替影響もあり、連結で前期比1,458百万円の増加

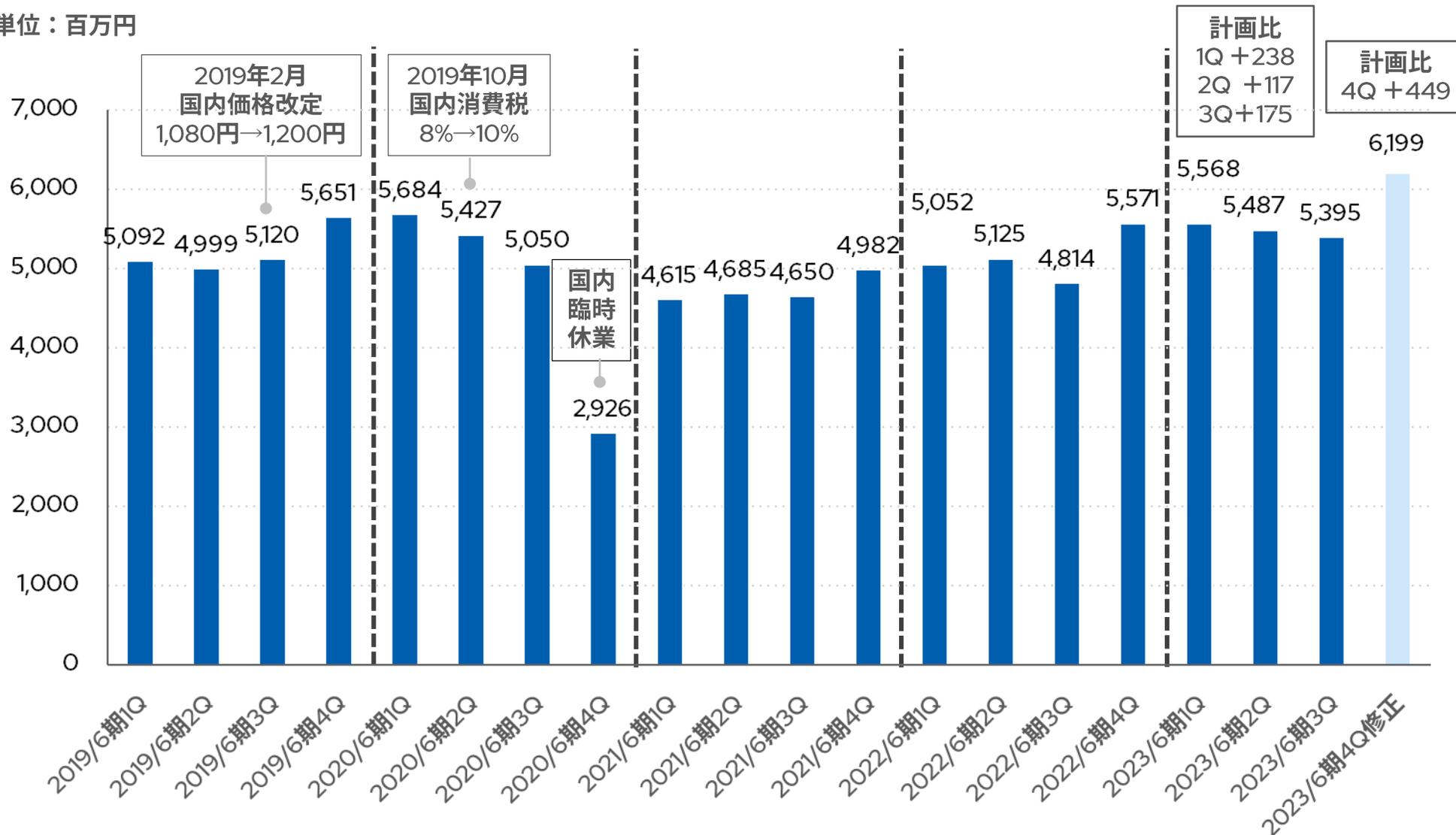


# 【連結】売上収益の推移

実績

修正  
予想

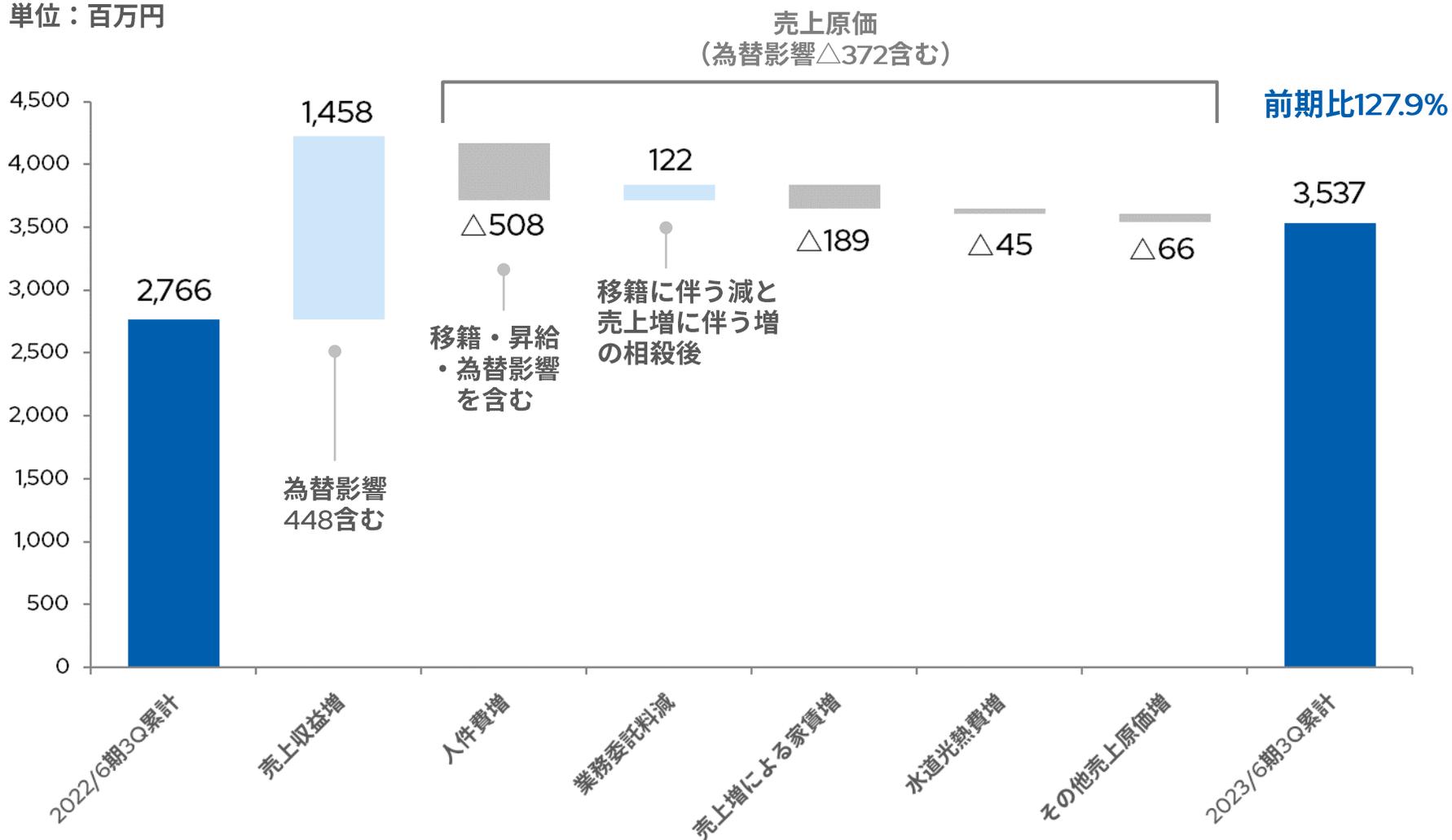
単位：百万円



# 【連結】売上総利益の増減内訳（前期比）

- 売上総利益は、売上収益増、業務委託先からの移籍及び2022年10月昇給（国内）に伴う人件費増、歩合家賃・電気代増、為替影響等により、前期比771百万円増加

単位：百万円

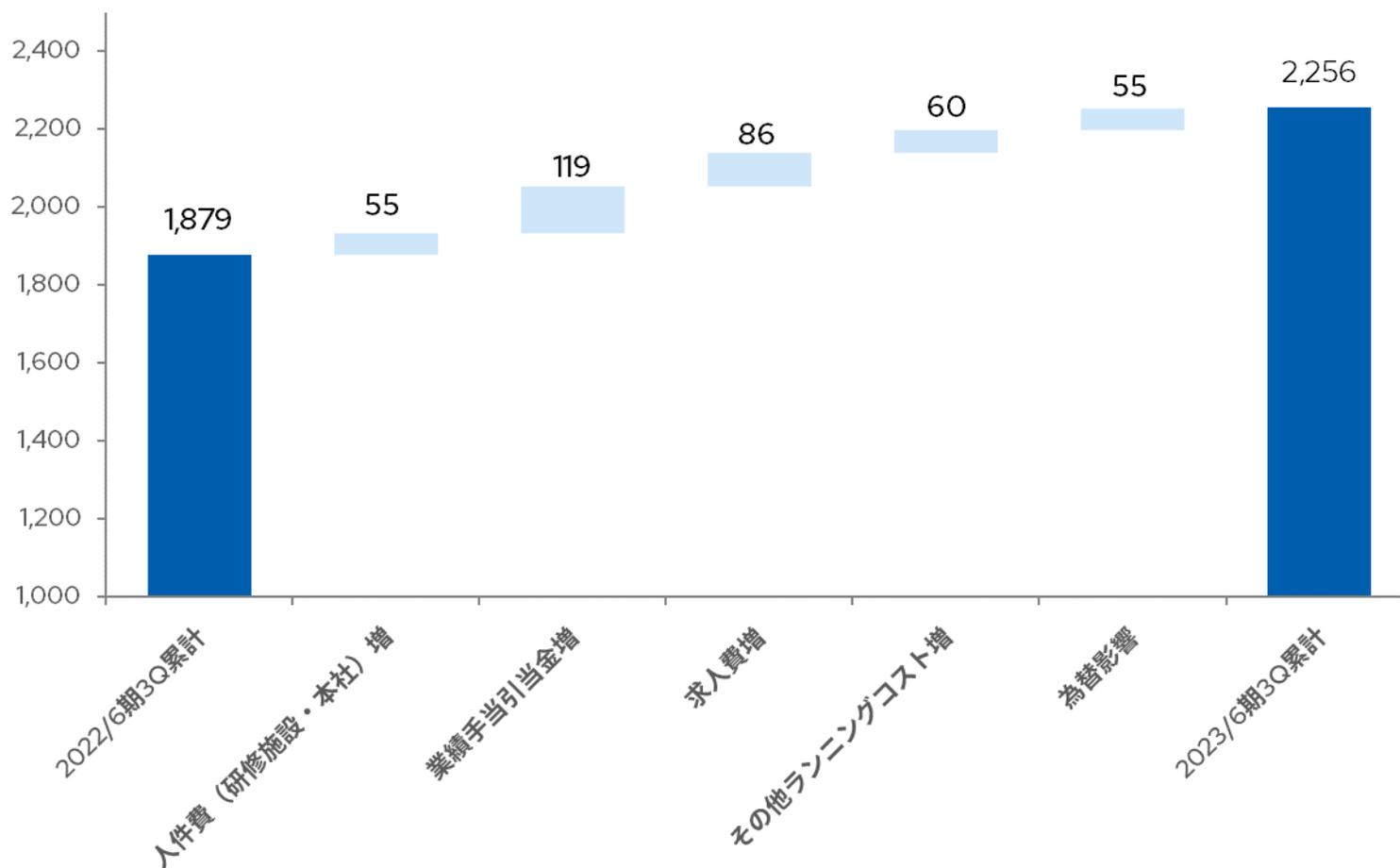


## 【連結】 販管費の増減内訳（前期比）

- 販管費は、業績手当の引当金や求人費の増加、為替影響等により、前期比377百万円増

単位：百万円

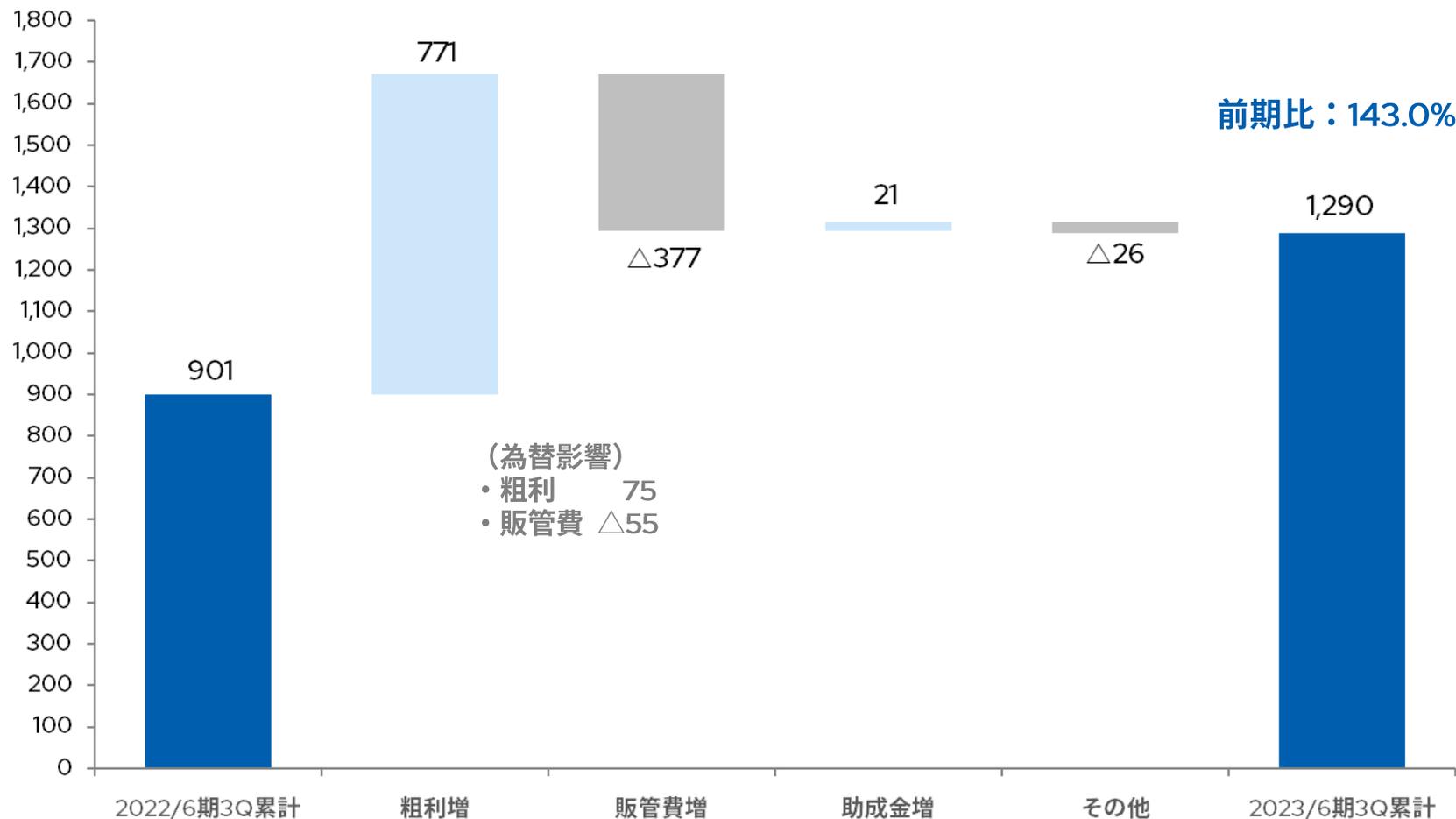
前期比：120.1%



## 【連結】 営業利益の増減内訳（前期比）

- 営業利益は、販管費が増加したものの、粗利の増加により、前期比388百万円増

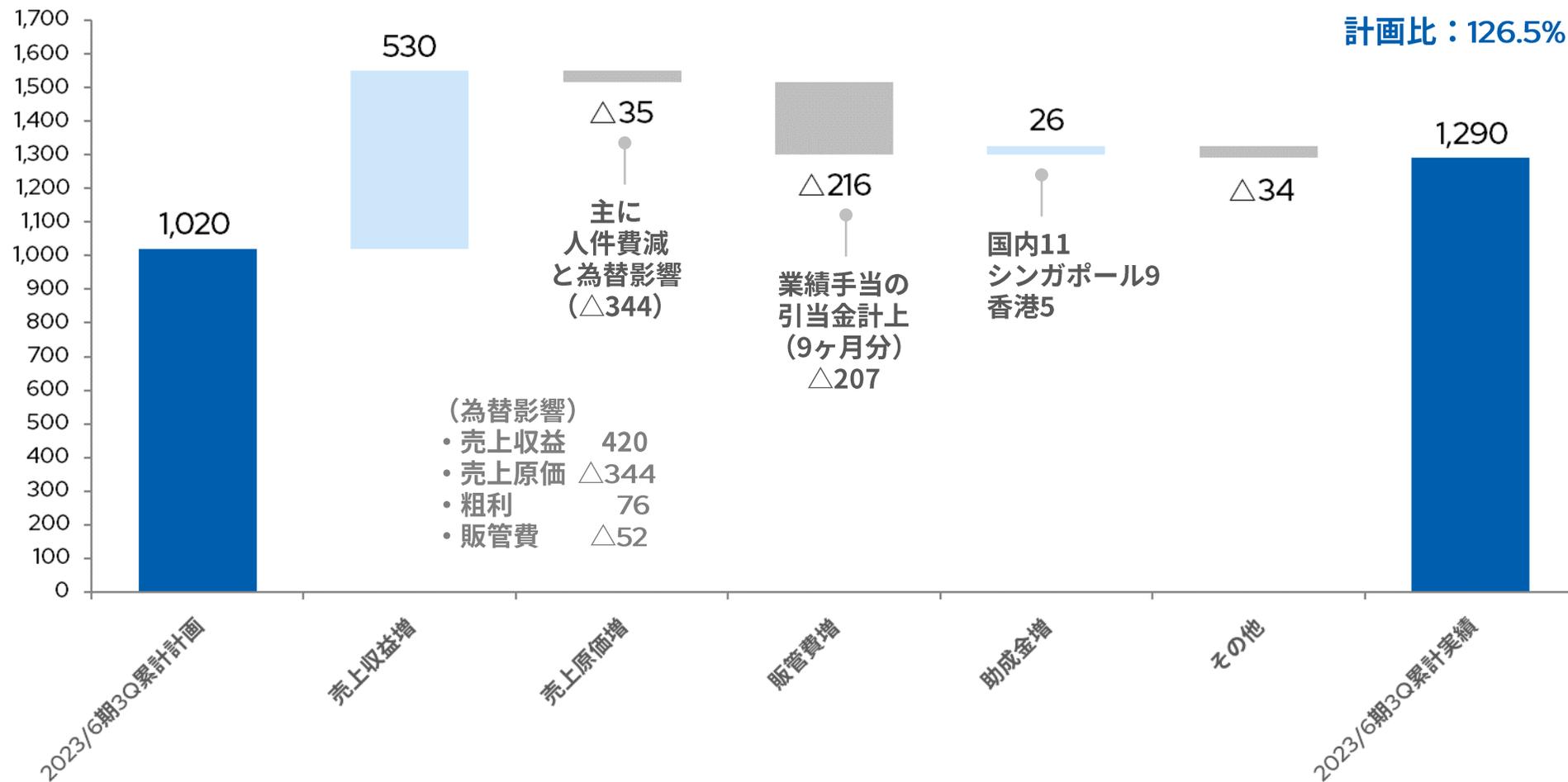
単位：百万円



# 【連結】参考：営業利益の増減内訳（計画比）

— 営業利益は、売上の回復と業績手当の引当金計上等により、計画比270百万円増

単位：百万円

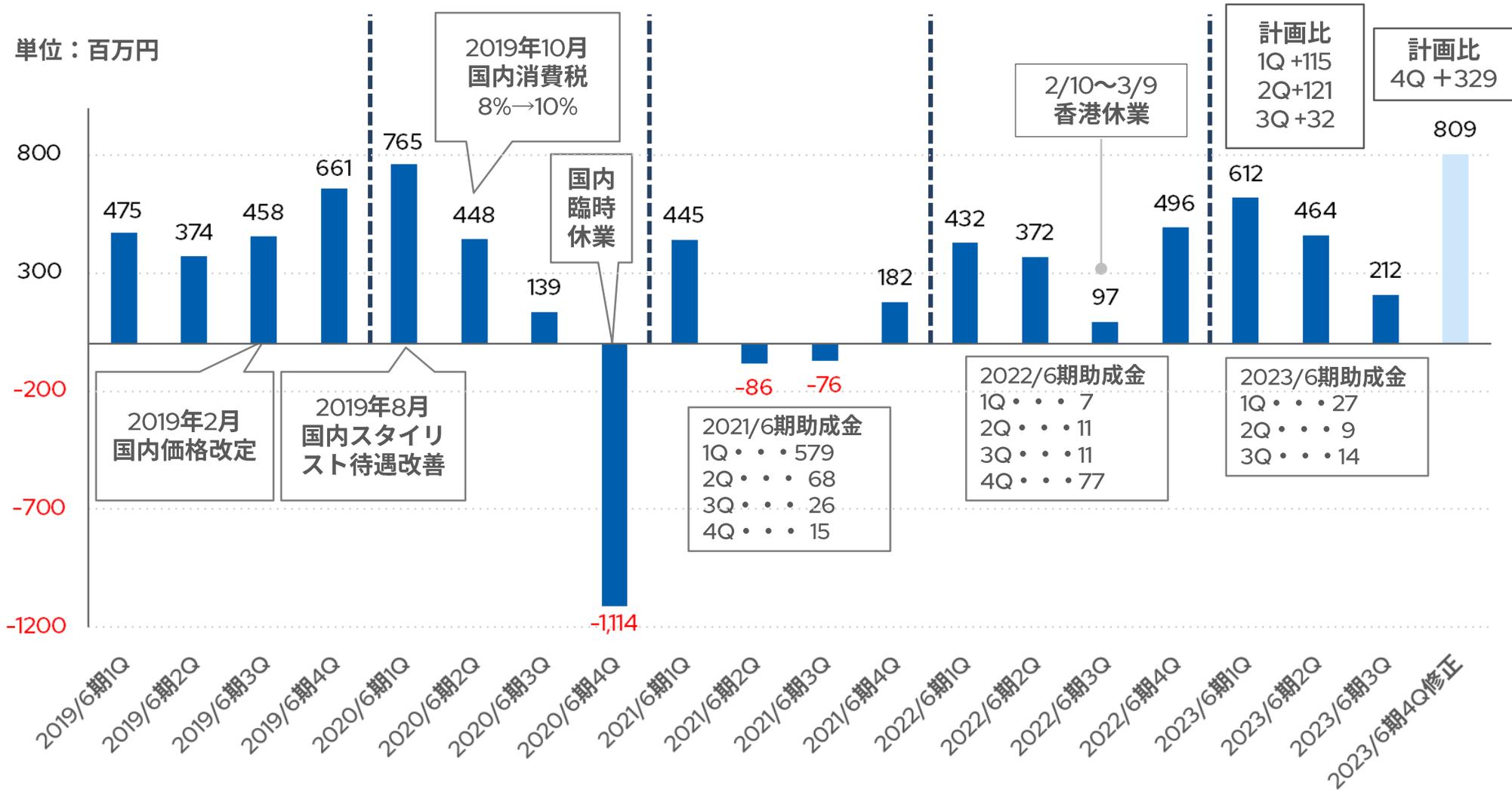


# 【連結】 営業利益の推移

実績

修正  
予想

単位：百万円

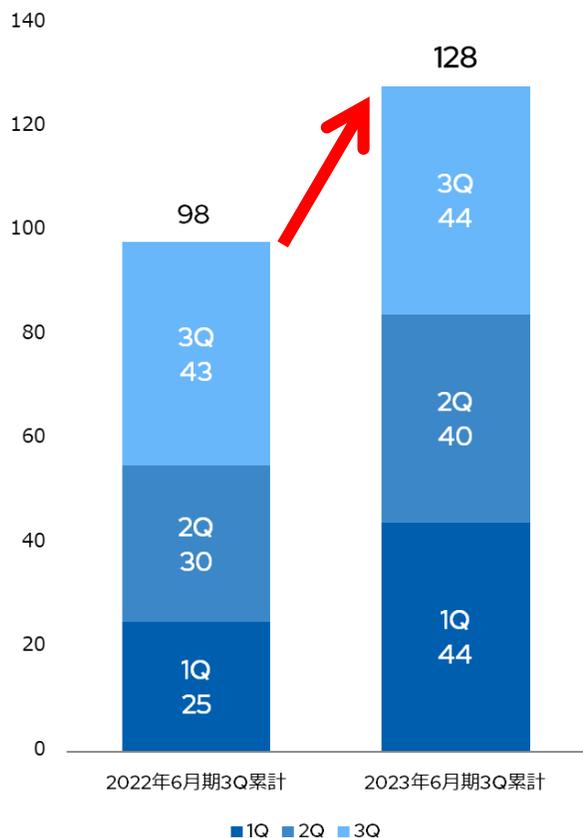


# 【国内】店舗人員の状況

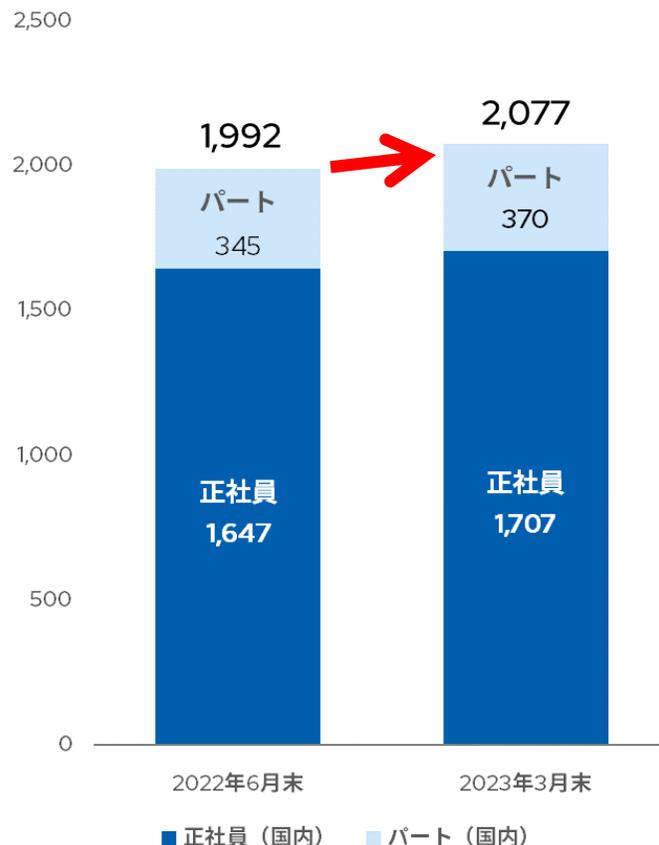
採用面は順調。業務委託店舗の直轄運営化に伴い、移籍を受け入れ

- 正社員の採用数は、128人（前期比+30人）
- 業務委託店舗からの移籍112人（内訳：正社員82人、パート30人）

単位：人 国内正社員の採用数



単位：人 2023年3月末の国内従業員数



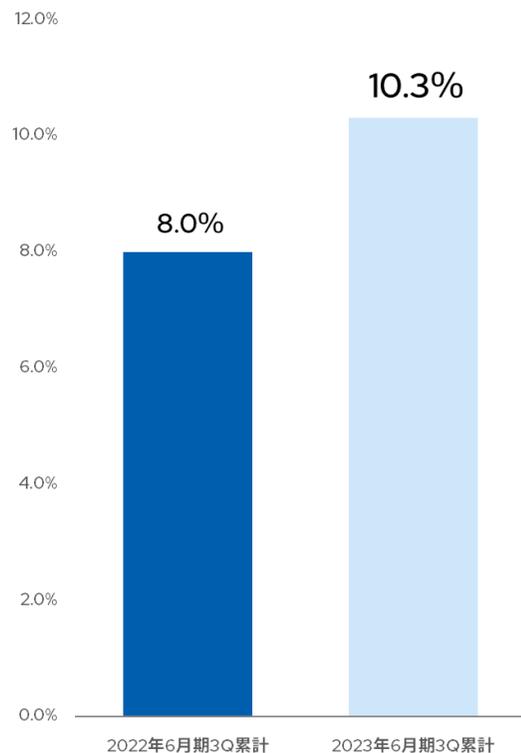
※業務委託先店舗からの正社員の移籍を除く。  
 本社は除く。研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

※業務委託先店舗からの移籍を含む。  
 本社は除く。研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

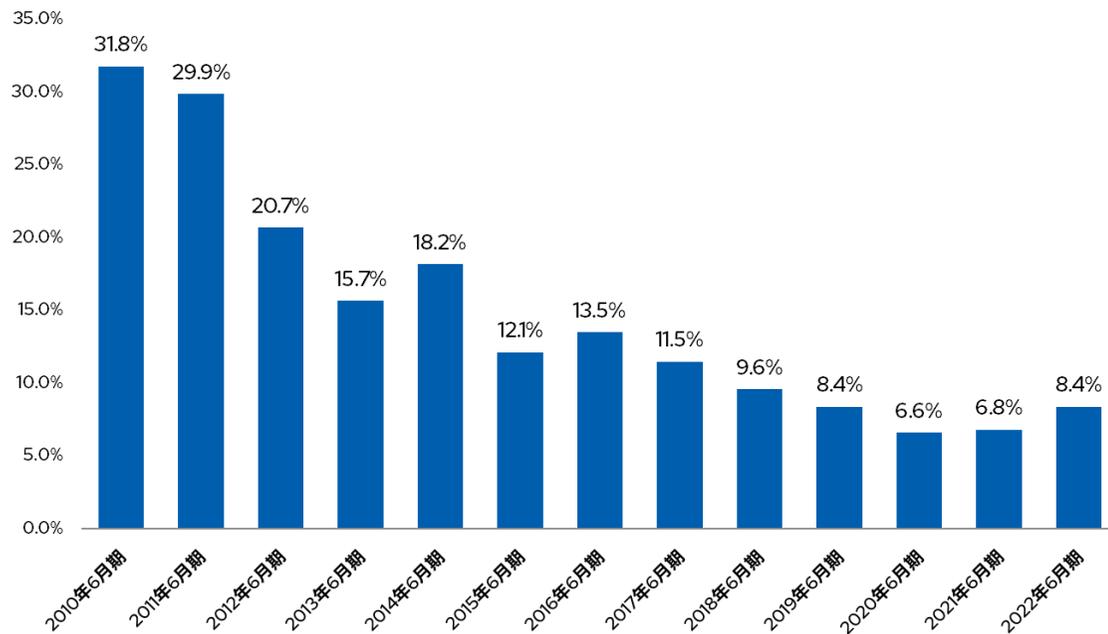
# 【国内】スタイリスト（正社員）の退職率の推移

- 国内正社員の退職率は、年率換算で10.3%（前期比2.3%pt増、1Q実績11.3%）
- 国内正社員の退職者数は、前年同期比30人増

## 国内正社員の3Q累計 の退職率 (年率換算)



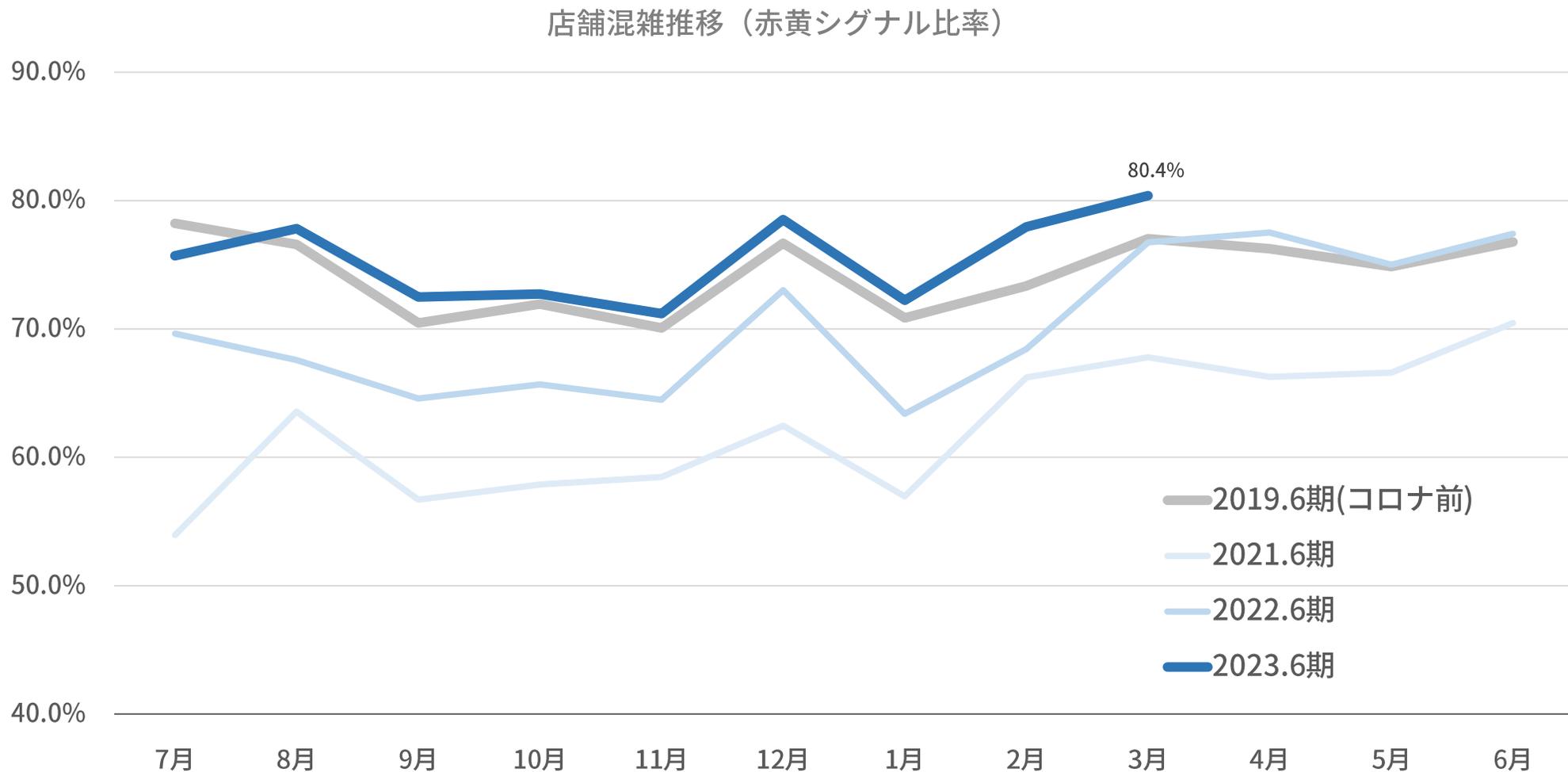
## 【参考】国内正社員の退職率の推移 (年間実績)



※本社は除く  
※研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

# 国内の現状①：国内店舗の混雑状況

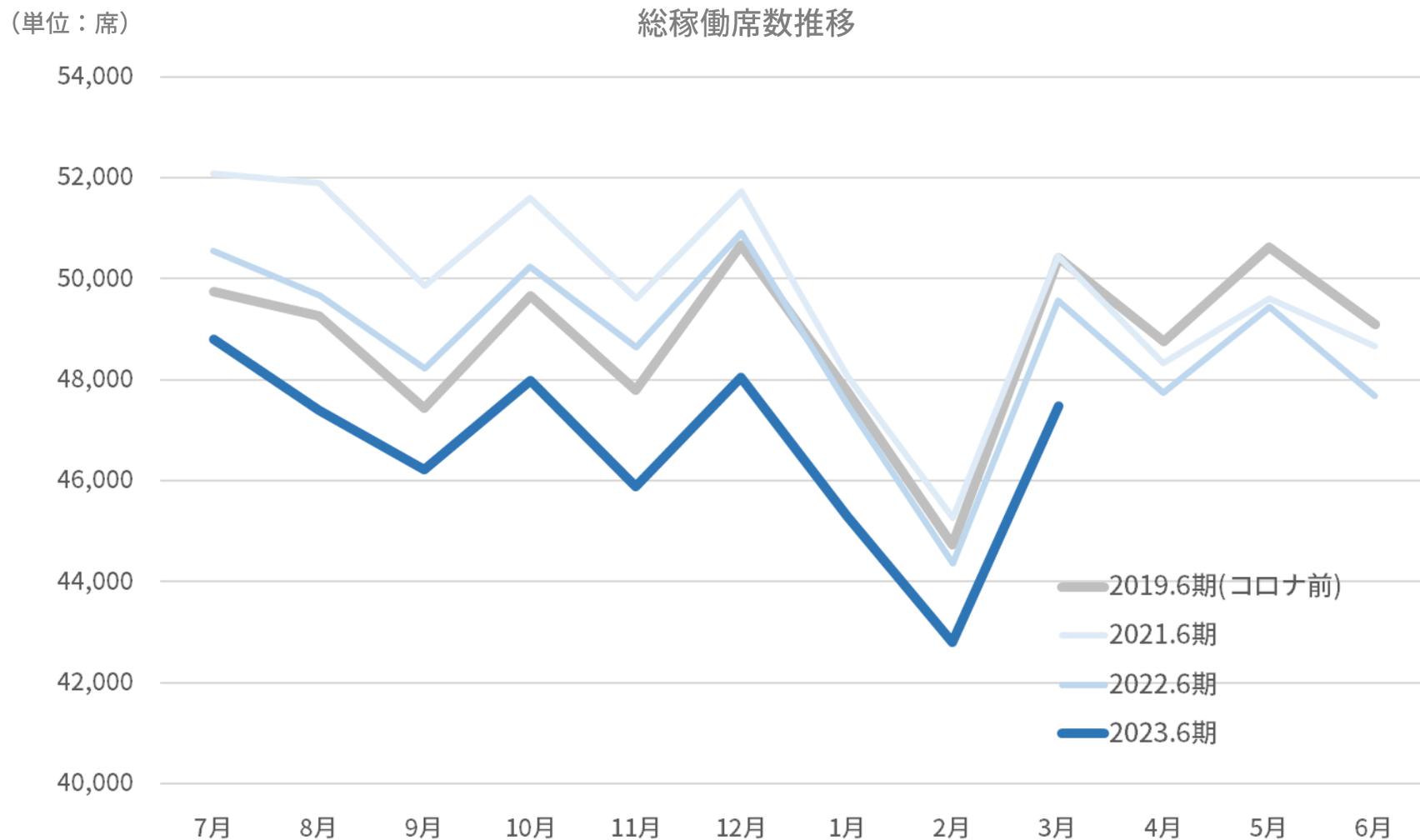
— 店舗の混雑状況を示す社内指標は、**コロナ前の水準を超えており、機会ロスが継続**



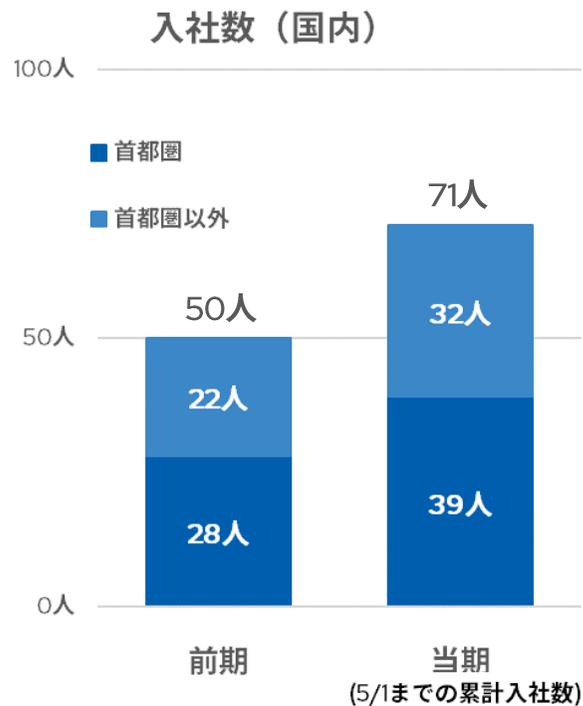
※店舗におおよその待ち時間を表示するシグナルを設置。赤色は15分以上、黄色は5～10分程度、青色はすぐ。赤黄の比率が高いほど混雑していることを示す

## 国内の現状②：国内の総稼働席数

- 店舗人員計画の未達からカット席の稼働席数がコロナ前よりも減少

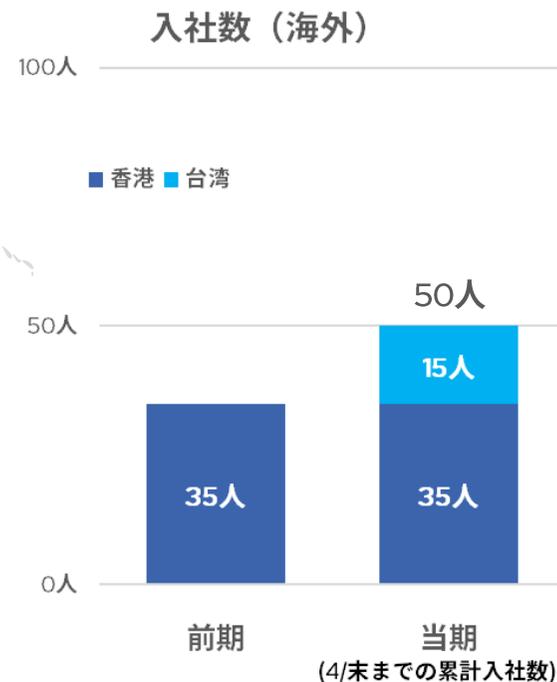


# ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール実績（研修施設）



## 人材育成投資の強化

- 国内外の研修施設を増設し、採用数も前期を上回る水準で推移
- ロジス広島校（国内）を2023年4月に開校
- ロジス台湾（海外）を2022年12月に開校



# 価格改定実施状況と処遇改善（給与改定）

- 価格改定により獲得した原資をもとに給与改定を実施（国内は来期予定）

## 価格改定による原資の確保

地域	改定時期	値上げ率	客数減少の影響
国内	2023年4月	9.1~12.5%	現状は軽微
シンガポール	2022年8月・2022年10月	16.7~20%	5~6%程度の減少
台湾	2023年1月	16.7%	軽微
アメリカ	2022年12月・2023年1月	16.7~20%	無し

## 給与改定の実施状況

地域	改定時期	実施内容
シンガポール	2022年12月実施	業界での競争力を考慮した給与水準の引き上げを実施
台湾	2023年1月実施	
アメリカ	2023年1月実施	

地域	改定予定時期	実施予定内容
国内	2023年8月	前回価格改定時と同水準の業績手当の支給を予定
	2023年10月	通常の給与改定
	—	上記の通常の給与改定に加え、業界での競争力を考慮した給与水準の引き上げを実施予定

# 今後の成長戦略について

価格改定によってスタイリストの待遇改善の原資を確保

継続的な待遇改善の実行

- ・ 給与水準の引き上げ
- ・ 働き方の多様なニーズへの対応：勤務体系、休暇制度
- ・ 人材育成拠点の拡充：新卒からシニアまで幅広い層の育成を強化

安定的なスタイリスト確保

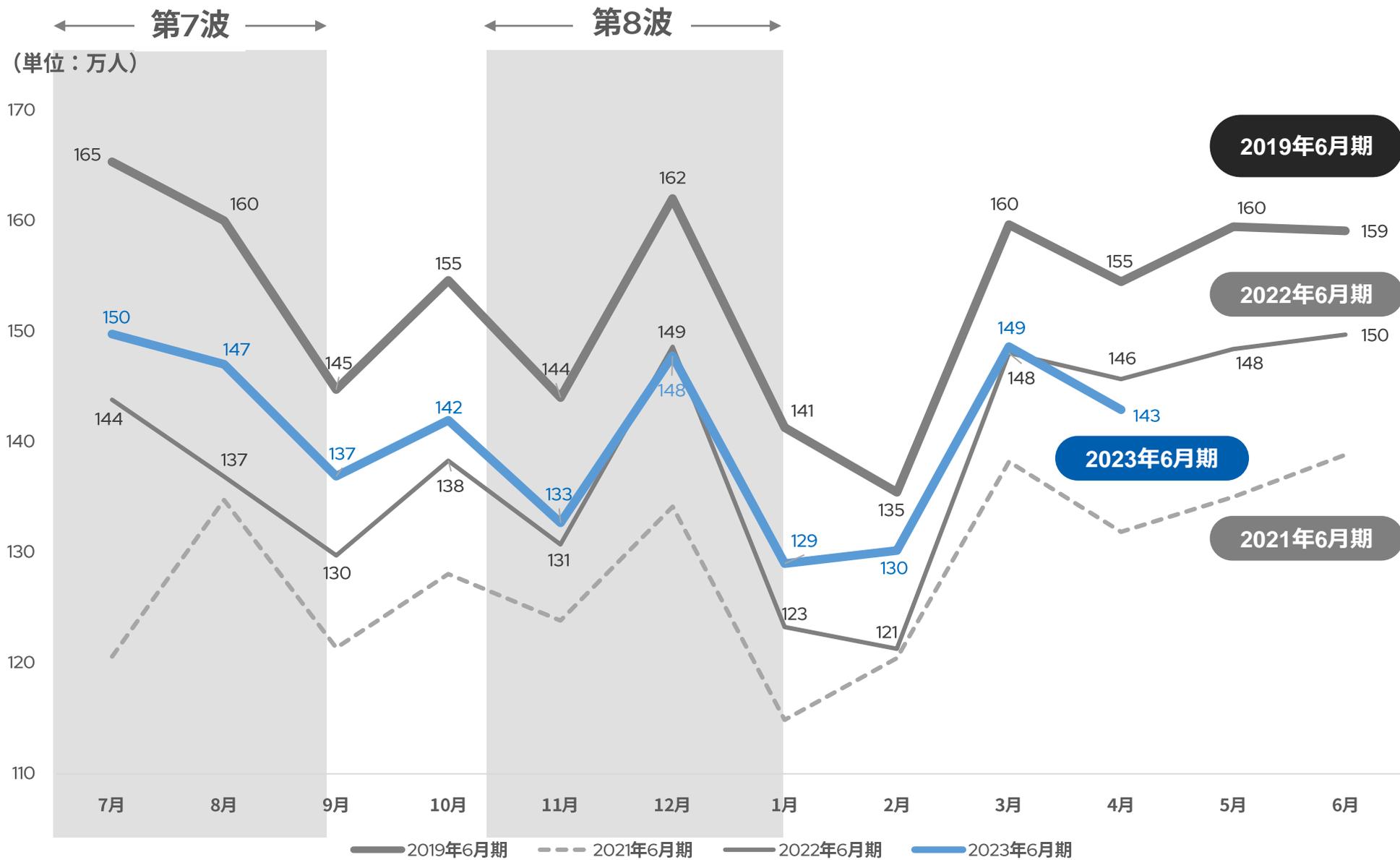
- ・ 採用力の強化                   ：働く人に合わせた多様な選択肢の提供
- ・ 定着率の向上                   ：働く人へより安心して長く働ける環境の提供

既存店の成長および新規出店の加速

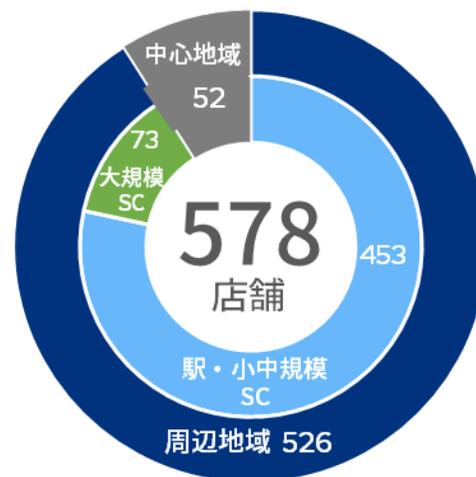
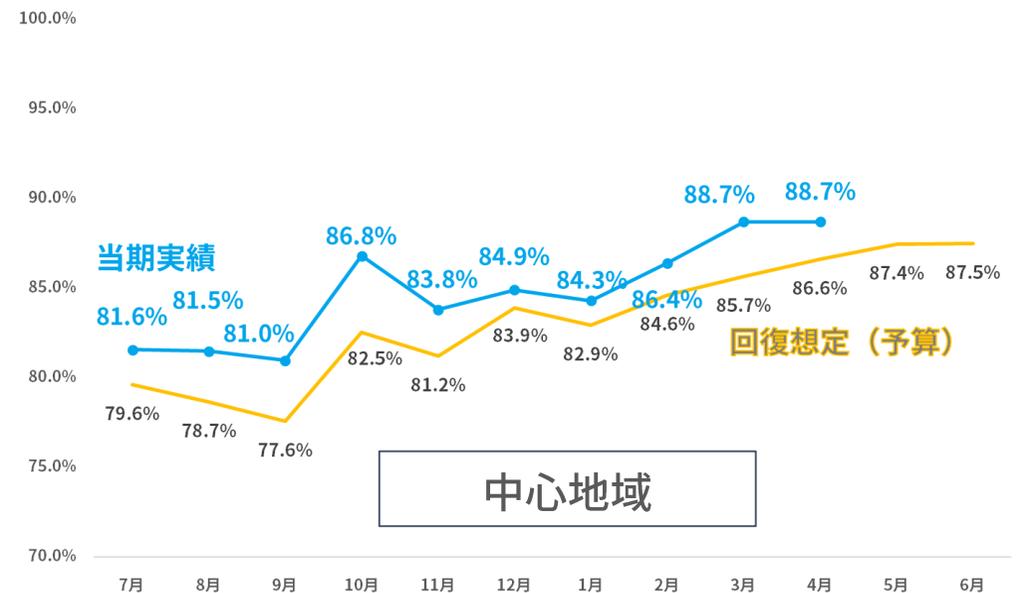
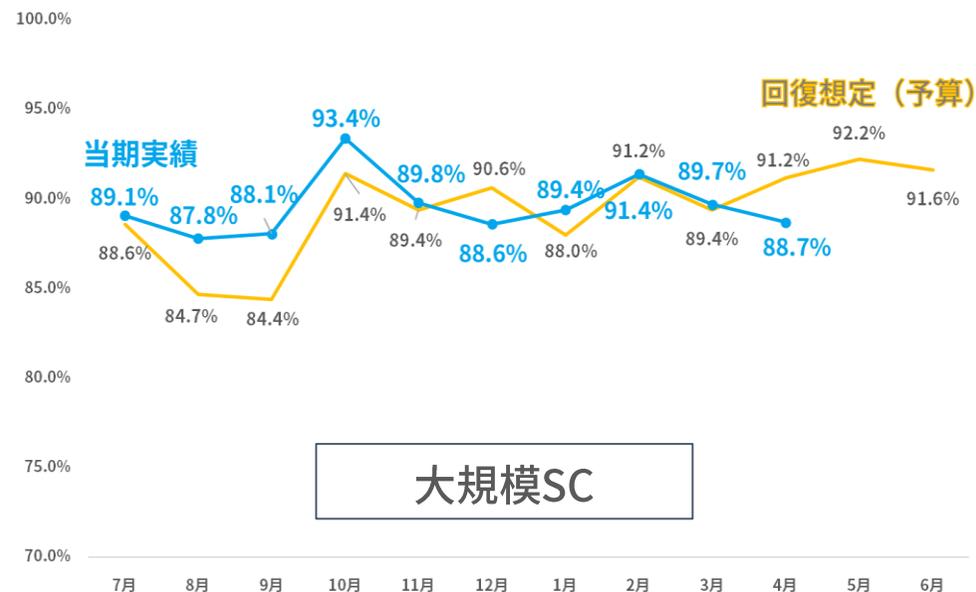
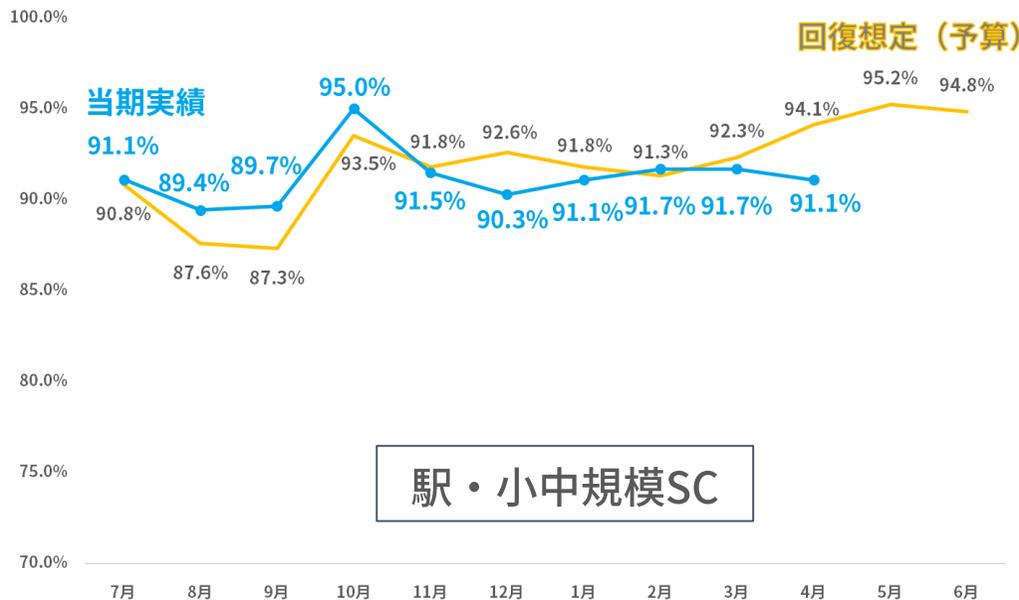
店舗拡大で得られた原資で更なる待遇改善を行い、事業成長の好循環を構築

# Appendix

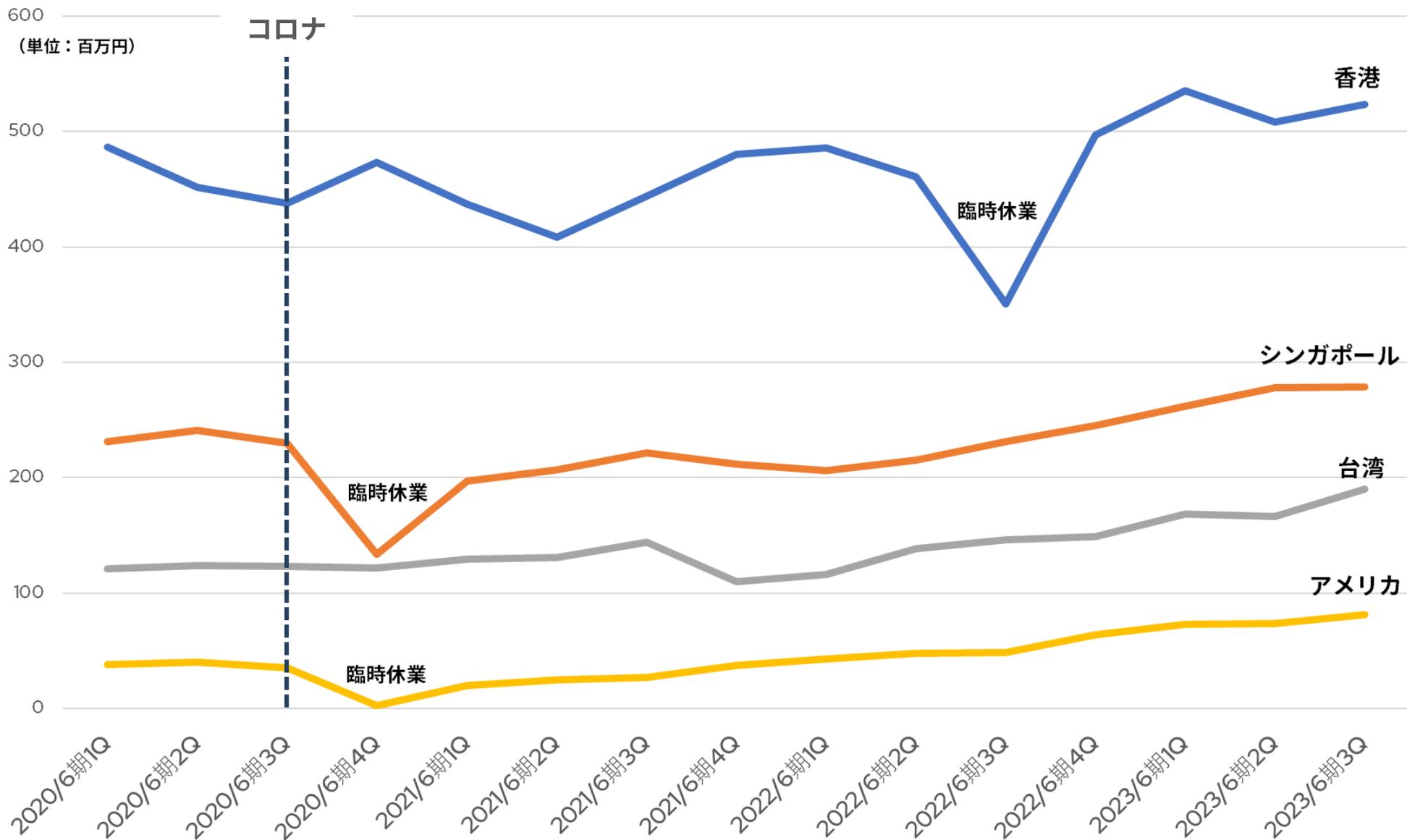
# 【国内】来店客数の推移（新店含む）



# 【国内】来店客数の回復想定と実績（既存店）



# 【海外】 売上の推移（四半期毎・円ベース）



## 参考：価格改定の過去実績

価格改定（税込）の実績	
国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2014年4月：1,000円→1,080円（65歳以上かつ平日1,000円）</li> <li>• 2019年2月：1,080円→1,200円（65歳以上かつ平日1,100円）</li> <li>• 2022年3月：シニア価格1,100円の終了</li> <li>• 2023年4月：QB HOUSE 1,200円→1,350円 QB PREMIUM 1,650円→1,800円 FaSS 2,200円→2,400円</li> </ul>
シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2012年12月：SG\$10（約1,010円）→SG\$12（約1,210円）</li> <li>• 2022年8月：QB PREMIUM SG\$15（約1,510円）→SG\$18（約1,820円）</li> <li>• 2022年10月：QB HOUSE SG\$12（約1,210円）→SG\$14（約1,410円）</li> </ul>
香港	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2014年7月：HK\$50（約850円）→HK\$60（約1,020円）</li> <li>• 2019年7月：HK\$60（約1,020円）→HK\$70（約1,190円）</li> </ul>
台湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2023年1月：300元（約1,310円）→350元（約1,520円）</li> </ul>
ニューヨーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2020年6月：\$20（約2,680円）→\$23（約3,080円）</li> <li>• 2020年11月：\$23（約3,080円）→\$25（約3,350円）</li> <li>• 2022年7月：オンライン予約のみ\$30（約4,020円）</li> <li>• 2022年12月：オンライン予約のみ\$30→\$35（約4,690円）</li> <li>• 2023年1月：\$25（約3,350円）→\$30（約4,020円）</li> </ul>

# グループ連結業績概要

## 連結損益計算書

単位：百万円	2022/6期3Q累計		2023/6期3Q累計			
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	前期比
売上収益	14,992	100.0%	16,450	100.0%	1,458	109.7%
売上原価	△12,225		△12,912		△687	105.6%
売上総利益	2,766	18.5%	3,537	21.5%	771	127.9%
その他の営業収益	65		61		△4	
販売費及び一般管理費	△1,879		△2,256		△377	120.1%
その他の営業費用	△51		△52		△1	
営業利益	901	6.0%	1,290	7.8%	388	143.0%
金融収益	10		13		3	133.9%
金融費用	△123		△128		△5	104.4%
税引前利益	788	5.3%	1,175	7.1%	386	149.0%
法人所得税費用	△268		△362		△93	134.9%
当期利益	519	3.5%	812	4.9%	292	156.2%

# グループ連結業績概要

## 連結財政状態計算書

単位：百万円	2022/6期 4Q末	2023/6期 3Q末	増減額
<b>流動資産合計</b>	4,912	4,772	△ 140
現金及び現金同等物	3,724	3,432	△ 292
営業債権及びその他の債権	915	889	△ 26
棚卸資産	92	258	166
その他	181	193	12
<b>非流動資産合計</b>	24,823	24,811	△ 11
有形固定資産	1,360	1,235	△ 125
使用権資産	5,116	5,147	31
のれん	15,430	15,430	-
その他の金融資産	1,937	2,001	64
繰延税金資産	748	764	16
その他	230	232	2
<b>資産合計</b>	29,736	29,584	△ 151
<b>負債合計</b>	18,348	17,498	△ 849
営業債務及びその他の債務	235	329	94
有利子負債	10,147	9,601	△ 546
リース負債	5,197	5,163	△ 33
その他	2,768	2,403	△ 364
<b>資本合計</b>	11,387	12,085	698
<b>負債及び資本合計</b>	29,736	29,584	△ 151

平常時より手元資金を厚めに保有  
(平常時の手元資金は20億円程度)

借入金約定返済 (△525百万円)

# グループ連結業績概要

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2022/6期3Q累計	2023/6期3Q累計	増減額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,122</b>	<b>2,864</b>	<b>△ 257</b>
税引前利益	788	1,175	386
減価償却費及び償却費	2,393	2,443	50
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△ 51	55	107
利息の支払額	△ 93	△ 102	△ 8
助成金の受取額	30	51	20
法人所得税の還付額	29	-	△ 29
法人所得税の支払額	△ 74	△ 706	△ 632
その他	98	△ 52	△ 151
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 373</b>	<b>△ 417</b>	<b>△ 43</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 275	△ 293	△ 17
無形資産の取得による支出	△ 27	△ 43	△ 15
その他	△ 71	△ 81	△ 9
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>2,748</b>	<b>2,447</b>	<b>△ 300</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 3,443</b>	<b>△ 2,721</b>	<b>721</b>
短期借入金の純増減額（△は減少）	△ 1,000	-	1,000
長期借入金の返済による支出	△ 525	△ 525	-
配当金の支払額	△ 0	△ 130	△ 130
リース負債の返済による支出	△ 2,011	△ 2,110	△ 98
その他	93	44	△ 48
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>113</b>	<b>△ 17</b>	<b>△ 131</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額（△は減少）</b>	<b>△ 581</b>	<b>△ 292</b>	<b>289</b>
<b>現金及び現金同等物の当期末残高</b>	<b>4,020</b>	<b>3,432</b>	<b>△ 588</b>

課税所得の増加に伴うもの

前期コミットメントライン返済

# 参考：今期の出店計画

## 2023年6月期の新店・閉店の計画

単位：店舗	業態	2022/6期末	新店	閉店	増減	2023/6期末
日本	QB HOUSE QB PREMIUM	580	15	△22	△7	573
	FaSS	11	2	0	2	13
国内小計		591	17	△22	△5	586
シンガポール	QB HOUSE QB PREMIUM QB HOUSE Kids	31	1	0	1	32
香港	QB HOUSE	64	3	0	3	67
台湾	QB HOUSE	29	4	△1	3	32
アメリカ	QB HOUSE	5	1	0	1	6
海外小計		129	9	△1	8	137
連結グループ合計		720	26	△23	3	723

(※) 新店数・閉店数は移転に伴う出店・閉店を含む

本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。



**QBHOUSE**  
GLOBAL



QBハウスの  
訪問理美容サービス

